

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年2月27日

事業所名 こども発達・子育て支援センター わくわくかん

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題やかいせんすべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8				基準以上のスペースを確保し、利用児が快適に過ごせるよう配慮しており、広い園庭や芝生広場、開放的なホールや指導訓練室を確保しています。
	2 職員の配置数は適切である	8				配置基準は管理者、児童発達支援管理責任者、利用児10人に対し、2人の職員配置です。加えて児童指導員等加配職員、専門的支援体制をとっており、保育士、児童指導員（社会福祉士）、心理職員、公認心理師、PT等を配置し、配置基準よりも多くの職員配置を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	3			事業所内は全て、段差がない構造になっています。部屋の扉の横にどんな部屋か視覚にわかりやすく絵で表示している。活動やその日の流れが分かりやすいようにタイムスケジュールを張り、見通しが持てるよう配慮している。トランポリンに上がる階段も柔らかい高ウレタン素材の階段にし、遊具の周りにはマットを敷く、角や鉄の棒にはガードをする等安全面にも配慮を行っています。 利用児が使用した時間後には毎日清掃を行い、整理整頓をしています。遊具やおもちゃ等も毎日アルコールで消毒を行い、室内にも消毒用アルコールや除菌シートを設置しています。 子どもたちの活動に合わせて部屋をわけて集団活動を行い、全体での活動は広い部屋で行うなど工夫しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	1			職員と情報共有しながらPDCAサイクルに参画しており、支援にあたっています。足りない面もあると思うので、今後もPDCAサイクルを意識し、しっかり職員同士参画して取り組んでいきたいと考えております。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1			保護者向けの評価を実施・活用しており、保護者の方からのご意見やご意向を把握でき、業務改善につなげていけるよう努めています。意向等を踏まえ、支援の改善、質の向上に向け、より一層業務改善努めていきたいと考えております。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1			館内の掲示板に掲示するとともにホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		地域の方に外部評価をしていた だく予定（評価いただきました）	地域の民生委員児童委員の方にご評価いただきました。地域の子どもたち・家族のために尽力されているとのご評価をいただきました。また、より地域とのつながり持つていければとのご意見をいただきましたので、今後の地域支援につなげていきたいと考えております。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8				法人内の新人研修、キャリアパス研修に参加したり、事業所内で発達支援や五輪分析、育ちのミカタに関してや事例検討会などの内部研修を行っています。外部の研修への参加も積極的に行っています。 事業所の自己評価や職員の個別面談・育成面談などで職員の意見を把握する機会を設け、業務改善にもつなげるよう努めています。
支援	9 支援プログラムが作成、公表されているか	8			作成しています	今年度中に公表
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				子どものアセスメントは日々の振り返り、話し合いの中から課題や目標を設定し、保護者に関しては日々の送迎時にお話したり、電話相談や面談を行うなど、アセスメントを行って、保護者の困りや悩みの共有、ニーズの把握を行い、どのような支援が必要か、職員間で話し合い、子どもの最善の利益は何かを考えながら、計画を作成していくよう努めています。計画は職員で共有し、支援にあたっています。 また、5領域を踏まえ、「本人支援（発達・才能支援）」、「本人支援（対人関係・心のケア）」、「家族支援」「移行支援・地域支援・地域連携」の項目を設け、子ども一人ひとりにあった、必要な支援目標と支援内容を設定しています。本人の日々の様子や発達の特性、具体的な関わりを踏まえた具体的な支援内容になるように設定しています。今後はツールも用いていくことも検討中です。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8				日々の支援の中での様子や利用調査票などインフォーマルなアセスメントを行いながら、レーダーチャートを利用して分析しており、今後は、育ちのミカタや五輪分性シートなどのツールを用いて分析するなどして行きたいと考えています。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題やかいぜんすべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 活動プログラムの立案をチームで行っている	8				活動ディレクターが活動内容を考え、職員間で検討し、チームで立案しています。
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			子ども達が話し合いの中で決めていくというスタイルはいいと思う。	季節やイベントの活動を取り入れたり、地域のお祭りに参加したりしています。また、個々の発達に応じた活動ができるよう配慮や工夫を行ったり、みんなで話し合って活動内容を決めたりしています。
	14 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8				毎日、朝礼等で活動と個別の課題について職員間で話し合い、設定し支援しています。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8				一人ひとりの特性、発達段階や日々の状況に応じて、個別課題と集団活動時の課題の両方の視点から計画を作成し、支援を行っており、職員間で共有し、取り組んでいます。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8				支援開始前(朝礼等)にミーティングを行い、活動内容、個々の対応での留意点や個別対応の必要性のある児童へは担当を決めるなど行い、職員間で確認をしています。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8				活動終了後ミーティングを行い、支援の振り返りと新たな支援方針の検討を行っています。その日にいなかった職員にも伝わるよう業務日誌に記載し、朝礼時に伝達するなどして情報共有を行っている。
	18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				正しく記録をとれているか、その日のディレクターが、その日の利用児と記録があっているかの確認をし、支援の検証、改善につなげています。
	19 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				半年に1回必ず更新モニタリング会議を行い、計画の見直しを行っていて、必要に応じて細かい計画の変更を行うようにしています。
	20 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	1			ガイドラインの総則の基本活動（日常生活を充実させて自立するための活動、いろんな遊びや体験、地域の人たちと交流する活動、子どもが自分で考えて参加できる活動）を職員間で周知し活動時参考にしながら支援できるよう取り組んでいます。（地域行事への参加、季節を取り入れた制作や子どもそれぞれの才能支援できるような取り組み、リフレッシュやリラックスできる活動や空間の設定、自分たちで話し合い活動を決めていくなど） また、自己選択・自己決定できるよう支援の工夫や本人が決定する力を育てるよう取り組んでまいります。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8				児童発達支援管理責任者や療育現場でその子と最も関係ができる職員が会議に参加して情報交換を密に行っている。
関係機関や保護者との連携	22 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っていている	8				送迎時や電話連絡、支援会議、保育所等訪問支援を活用するなどして学校との情報共有、連絡調整を行っています。
	23 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	6		受け入れケースがない	現在、医療的ケアが必要なお子さんは利用していませんが、重要事項説明書に主治医の記載をしてもらい、子どもとの連絡体制が整うよう配慮しています。 地域保健や医療や保育教育、障害福祉との連携をとれる体制を整えており、同法人ではライフステージに合わせた施設があること、地域の保健師や病院との連携体制も構築できてきており、不足している面は今後も引き続き取り組んでまいります。
	24 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			就学前後には支援会議を開催して情報を共有している。	児童発達支援管理責任者等が電話や面談したり、支援会議を持つなどして、就学前の利用機関との情報共有や相互理解に努め、児童がスムーズに移行できるよう努めています。
	25 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4		今はいない（卒業した児がない）	担当者会議や移行支援会議に参加して支援内容等の情報提供を行っています。同法人の障害福祉サービス事業所の見学等を行っています
	26 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8				発達障がい者支援センターECOALと連携を取り、助言を受けたり、研修や講演会に参加しています。児童発達支援センターを同施設で行っているので、日々連携をとっています。
	27 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5		3	こども園の行事に参加したり等。	お祭りや行事を通して地域との交流を行ったり、活動の中で地域の公園で遊ぶ際地域の子どもたちとふれあう機会が持てていますが、今後も交流機会が増えていけるよう努めています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題やかいぜんすべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
連携	28	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	2	4	1	自分は行ったことがない	協議会研修会に参加しています。協議会の会議は、市が決めた事業所等で構成されているため、参加はまだできていませんが、協議いただきたい事案があれば部会員の方や障害福祉課の方に伝えるようにしています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8				送迎時や電話連絡により日頃の子どもの様子を保護者の方に伝えています。また、保護者の方のニーズを踏まえて、支援計画を作成しています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	5	3		ペアトレはしていないが保護者の集まりなどでお話し会はしています	行事の際に保護者連絡会を行うことで保護者同士が互いに話し合えるような機会を設けています。今年度、月に1度木曜日の午前に保護者同士が集まれる機会を提供しています。今後も保護者支援に力を入れていきたいと考えています。
	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1			利用開始時に利用契約書や重要事項説明書の説明を通して丁寧な説明を行っています。支援プログラムの説明に関しては、今後行って行きます。
	32	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		8			面談や相談に応じながらよく話を聞いたり、日々の支援の中で子どもの意思の尊重や子どもの最善の利益を優先した観点で意向を確認する機会を設けるよう努めています。今後も話し合う機会をより設けて行きたいと考えています。
	33	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		8			日々の支援の内容やお子さんの状況や成長や課題などを話しながら説明を行い、同意を得ています。
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		8			随時、子育て等の悩みや相談に応じ、必要に応じて支援会議を行ったり、公認心理師との面談を設ける等行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	1		行事の際に保護者会を開催したり、今年度は2回、わくわくの会と称し、保護者同士で茶話会を行い、保護者同士の交流が少しずつでも持てるようになればと期待しています。またこういった会を開いてほしいといううれしいご意見をいただきました。今後も保護者の方同士が連携等できるよう支援していきたいと考えております。兄弟児も一緒に遊びに来てくれているので、兄弟児同士のつながりもできつつあるようです。兄弟児の支援にも今後つながっていければと考えています。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		7	1		保護者の方々からの相談は電話でも来所でも対応しており、できる限り迅速に対応しております。また、苦情解決担当者、責任者を設け、掲示をしています。また重要事項説明書でも記載し、第三者委員についても記載しています。もし、苦情等があった場合は迅速に対応していくよう努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		8			定期的にわくわくかんだりを発行しています。ほぼ毎月の各曜日の活動予定を話し合いで決め、記入した予定表を持ち帰ったり、配布しています。行事予定についてはコドモンやLINE、紙面で発信しております。
保護者への説明責任等	38	個人情報に十分注意している		8			細心の注意を払い、保護者の方にも個人情報の使用について担当者会議等情報交換など必要なときのみ情報共有させていただくことを了解していただくため、同意書をいただいています。また毎日の朝礼で倫理綱領を全職員で読んでいます。その中に守秘義務の遵守があり、意識の徹底ができるよう心掛けています。個人情報がある文書に関してはカギのかかる欄に収納しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		8			視覚的にわかりやすいように、文書にしたり写真を見せたり、サインや言葉のモデルを示したり、タイムスケジュール作成する等、情報伝達の配慮を行っており、自分の意思を伝えやすい工夫を行っています。 コドモンやLINE、電話など、ICTを駆使しながら、またわくわくの会や保護者会などを通して、保護者の方々の思いや情報など伝えたり受け止められるよう配慮を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	3		地域や佐伯市の民生委員児童委員、保育所等の研修・見学を受け入れました。地域のお祭りにも参加しており、今後もさらに開かれた事業所運営に努めています。
	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		7	1		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しており、職員には皆が目とすことができるよう回覧したり、研修等行うことで周知しており、保護者には保護者会などで周知させていただいておりますが、今後も周知できるよう、隨時伝えるなどして工夫していきたいと考えています。 また、事業所で事故等（怪我等を含む）が発生した際には、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について丁寧に説明し対応するよう努めています。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを作成しています。保護者会や利用開始時の契約の際に周知を図っています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題やかいぜんすべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				避難等の意識付けできるよう活動に取り入れるよう努めています。職員間でも非常に備えて訓練を行い、いざというときに対応できるよう努めています。また、保護者会等や個別にも周知できるよう努力していきます。 BCP（業務継続計画）についても策定し、事業所内で研修訓練を行っています。 子どもの安全を確保するための計画（安全計画）について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援するよう努めています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8				安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理を意識して支援を行っているが、それでもけがが起こることはあるので、その都度なぜかがをしたのか、どうすれば防げるのかなど、職員で検証して、より安全に子どもたちが過ごせるよう努めていきたい。
	44	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		計画を作成しているが、周知が十分かというと十分ではないかも知れない	保護者会等で周知を行うようにしてはいるが、十分な周知はできないと思うので、より周知できるよう工夫していきたい。
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8				利用前(見学時)に利用調査票に記入いただき、子どもの状況を確認、把握しています。看護師が対応しており、子どもの状況が変化した時や服薬が変更したときは連絡をいただいたり、こちらから連絡したりしております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				法人内の虐待防止委員会へ職員が所属し、虐待の防止を徹底しています。職員に研修等行っています。外部の虐待防止に関する研修にも進んで参加しており、全員参加はできないので、伝達研修も行っています。虐待防止につながる支援の人員配置やスーパーバイズなどにも手厚く配慮しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8				「身体拘束は行わない」という方針のもと、職員の人員配置も基準以上の配置をし、職員に対しての周知の徹底を行い、専門性の向上に努めています。特性が強く、身体等に危険が及びことややむを得ないことが想定される場合は、同意書の作成を行い、保護者に丁寧に説明し了解を得て、計画にも記載を行っています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8				食物アレルギーの子どもに対しては個別におやつ等を用意すると共に、医師の指示書をいただくなど看護師を中心に対応しています。
	49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3		情報共有は職員間で出来ているが事例集の作成はできていないかもしれません	ヒヤリハットの事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有できるようにしています。事例集は作成していませんがファーリングしていつでも見れるようにしています。